

平成28年9月宮古市議会定例会一般質問通告一覧表

(質問順)

質問月日	質問者	質問事項	
9月16日 (金曜日)	20番 落合 久三 議員 (日本共産党)	1 復興需要終了後の地域経済対策について 2 出崎埠頭整備事業について	P 1 P 1
	22番 松本 尚美 議員 (一新会)	1 投資的経費(財源)の確保を 2 地方創生総合戦略について 3 地元でできるものは地元で	P 2 P 2 P 3
9月20日 (火曜日)	26番 田中 尚 議員 (日本共産党)	1 閉伊川水門について 2 県立宮古病院の整備について	P 4 P 4
	7番 中島 清吾 議員 (日本共産党)	1 災害公営住宅について 2 国民健康保険税滞納者への対応について	P 5 P 5
	9番 内舘 勝則 議員 (無所属クラブ)	1 スマートコミュニティ事業の抜本的見直しを 2 宮古盛岡横断道路整備に伴う沿線地域のまちづくりについて 3 環境基本計画の進行管理について	P 6 P 6 P 6
9月21日 (水曜日)	13番 高橋 秀正 議員 (復興を考える会)	1 農業委員会法改正について 2 優しくない被災者対応 3 小山田テニスコートについて	P 7 P 7 P 7
	15番 古舘 章秀 議員 (ネクストみやこ)	1 災害時における社会的弱者の避難対策について 2 カーフェリー航路開設に向けた取り組みについて 3 都市計画法に基づく工業専用地域等の見直しについて	P 8 P 8 P 9
	24番 茂市 敏之 議員 (復興を考える会)	1 介護職員と保育士について 2 介護職員と保育士の給料を上げるための財源について	P 10 P 10
	19番 佐々木 勝 議員 (尽政クラブ)	1 企業誘致に向けた取組状況について	P 11

質問月日	質問者	質問事項	
9月23日 (金曜日)	1番 今村 正 議員 (無所属)	1 ふるさと納税について 2 私有林伐採の適正管理化について 3 市営住宅間の住み替えについて	P 12 P 12 P 12
	14番 橋本 久夫 議員 (ネクストみやこ)	1 希望郷いわて国体について	P 13
	17番 坂本 悦夫 議員 (新風クラブ)	1 子どもの貧困対策について 2 障害者との共生について	P 14 P 14
	5番 白石 雅一 議員 (復興を考える会)	1 津軽石の歴史文化財を活用したまちづくりを 2 スポーツ・レクリエーション施設の活用について 3 各分野で活用できる ICT の環境設備を	P 15 P 15 P 16

※ 一般質問 取り止め

9月16日(金) 11番 佐々木 重 勝 議員 (ネクストみやこ)
9月20日(火) 16番 工 藤 小百合 議員 (ネクストみやこ)
18番 長 門 孝 則 議員 (無所属クラブ)
9月21日(水) 12番 須賀原 チエ子 議員 (ネクストみやこ)
21番 竹 花 邦 彦 議員 (新風クラブ)
9月23日(金) 2番 小 島 直 也 議員 (公明党)
10番 北 村 進 議員 (新風クラブ)
9月26日(月) 6番 鳥 居 晋 議員 (復興を考える会)

※ 一般質問 一部取り止め

9月23日(金) 14番 橋 本 久 夫 議員 (ネクストみやこ)

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月16日(金)

質問順位 1番

質問者 議席番号 20番 落合久三議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 復興需要終了後の地域経済対策について	<p>(1) 復興需要終了後の地域経済は、このままでは失速を余儀なくされると思うが、市長は危機感を持ち合わせているのか伺う。</p> <p>(2) 水産加工業や商工業の場合も国、県、市の補助制度を活用して事業を再建した。しかし、売上げの低迷が長引き、事業を断念せざるをえないという事態の解決は喫緊の課題だと思うが、市長の考える解消、解決の施策は何か。</p> <p>(3) 震災を契機として以下の課題推進について提案し、市長の所信を伺う。</p> <p>① 宮古室蘭フェリー就航に関して、宮古の産業振興につなげ、観光客が滞在するための基本的視点、施策は何だと考えるか伺う。</p> <p>② 食産業推進へ「儲かる商品づくり」「海外進出を見込める商品開発」を個々の事業者まかせではなく「開発センター」(仮称)を設立して実施するよう検討すべきだと思うがどうか。</p> <p>③ あらためて、漁業で生計が成り立つようにするための重点施策は何だと考えているか伺う。</p>	
2 出崎埠頭整備事業について	<p>昭和63年度以降続けられてきた出崎埠頭整備の県事業の進捗状況は、初期の目的からはかけ離れた実態だと考える。大震災前の観光船は3艘だったが現在は1艘だけで、新造船の計画もないと聞いている。加えて現行の観光船発着場もそのまま利用する、新たに出崎にも増設するというのは、現実を見ない計画になりはしないかという懸念が生まれる。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>① そもそも事業計画・目的と現状とのギャップをどう認識しているのか伺う。</p> <p>② 現状のまま観光船の発着場を2カ所にするのは現実的でないと思うがどうか。</p> <p>③ 発着場に係る構造物の整備は誰が行うのか伺う。</p> <p>④ 宮古室蘭フェリー就航を契機に観光船発着場の整備場所も、藤原埠頭に集積するというのも重要な一案と考えるがどうか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月16日(金)

質問順位 2番

質問者 議席番号 22番 松本尚美議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 投資的経費(財源)の確保を	<p>復興バブルが弾ける。残念ながら、確実に地域経済が大きく落ち込む現状に直面します。</p> <p>市の中期財政見通しにおいても、震災以前に増して厳しい財政運営が見て取れます。プライマリーバランスを保つためには、投資的経費(財源)を大きく削減せざるを得ません。</p> <p>投資的経費を量的に、安定的に確保できないことは何を意味するか、市長は十分に理解をしているものと思いますが、その認識と確保を必要とするならば、その方策について伺います。</p> <p>投資的経費(財源)は、当市の未来づくり、地方創生においても、市長の能力、力量が問われるものと思いますが、来年度以降の予算編成において量的に確保する数字を示されたい。</p>	
2 地方創生総合戦略について	<p>本年2月9日策定の「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口ビジョンに基づき、総合的に施策を展開し、目標値を定め、進めようとしていますが、人口減少、特に少子化についての分析も含め、施策展開のキーポイントについて質問させていただきます。</p> <p>総合戦略において、当市の出生率を2.07へと段階的に向上させることを目標にしています。出生率は2.07という数字で示されていますが、出生数については数字が明確に示されておらず、何を根拠に2040年において、7,300人の人口減少が抑制されるのか、社会保障人口問題研究所の推計人口35,901人にならないのか、私も含め理解ができません。当然ながら、その支援も含め何をキーポイントにするか分かりません。</p> <p>市長は、十分理解しているとすれば説明をしていただきたい。私は各々現状実数を捉え、目標も実数で示すべきと考えますが、市長の認識を伺います。</p>	

<p>3 地元でできるものは地元で</p>	<p>「地元でできるものは地元で、加えて、地元でできないものも地元で」、折に触れ、まず頭を切り替え、スローガンとして掲げ、市民に先駆けて行政が、市長が、旗を振り、実行すべきと言い続けてきました。</p> <p>理解はすると答えていただいています。現状は進まない、進まないどころか手も付いていないものも多くあります。</p> <p>私は、地方創生に大きく関わるものと考えていますが、市長の現状認識と具体化に向けた取り組みをしているのであれば示されたい。</p>	
-----------------------	---	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月20日(火)

質問順位 1番

質問者 議席番号 26番 田中 尚 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 閉伊川水門について	<p>山本市長の同水門整備の受け入れ理由は大きく言えば、堤防のかさ上げ整備に比べて費用が少なく済む、早く整備できる、の二つだったが、現状はそれと矛盾している。</p> <p>先の議会で市長は「大変遺憾」とする一方で県に早期完成を望む考えを示しているが、仮に順調に事業が進んだとしても更に3年以上の工期が予想される。水門遠隔操作の有効性も不明なうえ、維持費も将来、市の財政負担となる。</p> <p>原点に戻り、私は事業を中止すべきと考えるが、受入れを決断した市長には水門整備の功罪を市民に説明すべき責任があると考えているが、市長の見解はどうか。</p>	
2 県立宮古病院の整備について	<p>市が同病院を高次救命救急センターへ機能の強化を求めて毎年度予算要望していることには敬意を表すが、県の対応は厳しいものがある。</p> <p>理由は、医師不足が最大の理由と思われるが、ことは広大な岩手県沿岸地区の医療施設のあり方に関わる問題でもある。</p> <p>実現に向けた課題とその改善策について、市の見解を示されたい。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月20日(火)

質問順位 2番

質問者 議席番号 7番 中島清吾議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 災害公営住宅について	<p>① 災害公営住宅の駐車場利用について、一世帯一台の有料での利用スペースが設けられておりますが、一世帯一台では不足との声も聞かれます。 市では、駐車場を増設する考えがないのか見解を伺います。</p> <p>② 以前、戸建ての災害公営住宅を将来的には払い下げるとの話がありましたが、現在はどのようになっているのか。若い入居者の方々は期待をしているようでしたが、現在は不安に駆られているようです。市の見解を伺います。</p>	
2 国民健康保険税滞納者への対応について	<p>① 当市においては、保険税滞納者からの保険税収納率が平成27年度分に関しては県内14市で1位、平成26年度分を含めても2位とのことですが、他市と比較し著しく効果があると認められる徴収方法はどのようなものか伺います。 また、滞納者の生活費等の負担を考慮されているのか伺います。</p> <p>② 滞納者への短期保険証の発行と差し押さえ処分について、保険税の確定は前年度の収入から算出され、現在の収入の有無に関わらず、納めなければいけないというものです。 震災から5年半が経とうとしていますが、市民一人一人が生活の再建に向け歩み出しているところであり、今が大切な時期と思われまます。 被災者の生活が再建するまでは、短期保険証の発行や差し押さえ処分について、考慮をすべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月20日(火)

質問順位 3番

質問者 議席番号 9番 内 館 勝 則 議 員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 スマートコミュニティ事業の抜本の見直しを	<p>去る8月8日、宮古市スマートコミュニティ推進協議会より事業の進捗状況や今後の取り組みについて説明があったが、説明の中で課題も山積されており、中長期的な見直しが必要との認識が示された。この事業に対しては、計画全体の抜本的な見直しが必要という指摘をしてきた経緯があるが、市長は、見直しについての認識はなく、計画どおり進めると答弁している。</p> <p>現状認識との乖離があり、事業導入の妥当性、計画の実現性などが疑問視され、抜本的な見直しが必要と考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
2 宮古盛岡横断道路整備に伴う沿線地域のまちづくりについて	<p>去る8月24日、市政調査会で宮古盛岡横断道路の現地視察を行ったが、この現地視察を通して様々な課題等が見えてきた。</p> <p>宮古盛岡横断道路は、災害時の救助・救援活動の支援、高次医療施設への速達性、安定性の向上、産業拠点との連携・連絡の強化、宮古室蘭フェリー航路アクセス等の利便性の向上など様々な整備効果が期待されている一方で、高速化による交通事故防止の観点から、現道利用区間の道路幅の拡幅、歩道整備・横断歩道やバス停レーン、道の駅入口の右折左折レーンの改良整備等交通安全施設の整備や沿線地域の疲弊化を解消するためのまちづくりが直面する課題と考える。</p> <p>特に、新里・川井地域の活性化施策等の検討を住民主体で行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
3 環境基本計画の進行管理について	<p>環境基本計画は10箇年をスパンとして策定され、平成25年度と26年度にかけて見直され、他計画との整合性を図るため、平成27年度から31年度までの5箇年計画として改訂された。</p> <p>計画では、PDCAサイクルの手法に則った継続的な進行管理を進めるとともに、環境管理指標をもとに毎年度点検、整理、公表することとしているが、進行管理の状況について伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月21日(水)

質問順位 1番

質問者 議席番号 13番 高橋秀正議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 農業委員会法改正について	<p>農業委員会法の改正法が平成27年8月28日に成立し、施行日は本年の4月1日であったが、現在の委員は在任特例で平成30年6月までが任期となっている。</p> <p>この法改正に関し、次の点について伺う。</p> <p>① 条例制定までの今後のスケジュールはどうか。</p> <p>② 想定される委員数は何人か。</p> <p>③ 認定農業者が委員の過半数を占めることになるが、それは可能か。</p> <p>④ 農地利用推進委員の人数及び確保の見通しはどうか。</p> <p>⑤ 市長の権限が強化されるが、公平性はどのように担保されるのか。</p>	
2 優しくない被災者対応	<p>① 仮設住宅の撤去について、昨年、仮設住宅の集約計画が示され、赤前仮設住宅の撤去は平成29年度とのことだったが、先の住民説明会で、県道重茂半島線工事の関係から、本年度撤去に変更され、10月までに全員退去という方針が示された。</p> <p>11月以降に住宅再建予定の住民に対し、一方的に工事を理由に退去を迫るのはいかがなものか。優しくない。</p> <p>② 災害援護資金は、震災により世帯主が負傷した世帯や住居、家財に著しい損害を受けた世帯の立て直しを支援する制度で、連帯保証人を立てる、立てないは自由、期限は平成30年3月までとのことである。</p> <p>ある被災者が申請に行ったところ、「今頃ですか。連帯保証人は。」と、「貸さないよ。」と言わんばかりの態度を取られたとのことであった。その市民は「市役所は市民を見ていない。書いてあることと言っていることが違う。」と怒っていたが、もっと優しく接することができないのか。</p> <p>これらのことについて、市の考えを伺う。</p>	
3 小山田テニスコートについて	<p>昨年、照明設備も完成し、中高生から高齢者まで利用が高まっている小山田テニスコートだが、土日には、市内はもとより県内各地から愛好者が集い大会も開かれている。しかし、残念ながらこの施設には男女別の更衣施設がなく、片手落ちだと思ふ。安全確保の観点からもトイレを含めた恒久更衣室を早急に設置すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月21日(水)

質問順位 2番

質問者 議席番号 15番 古館章秀議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 災害時における社会的弱者の避難対策について	<p>昨今、日本各地で自然災害が多発しているが、本市の急峻な山間地域には、一人暮らし世帯や老老介護世帯が点在し、増加している現状である。</p> <p>台風等の自然災害により避難が必要と判断された時に、点在している社会的弱者にどのように周知し、安全確保を図ろうとしているのか伺う。</p>	
2 カーフェリー航路開設に向けた取り組みについて	<p>宮古・室蘭フェリー航路開設が発表された以降、川崎近海汽船株式会社からは、使用船舶、ダイヤ及び想定貨物などが公表されており、運行に向けた準備が計画的に進んでいると思う。</p> <p>しかし、宮古港の整備等について港湾管理者である県からは、接岸場所を藤原埠頭10バースとしたことと接岸岸壁の緩衝材(防舷材)等の整備は国土交通省が行なうとしたこと以外のターミナル施設等の整備や施設管理システムなどが示されない現状である。</p> <p>航路開設の平成30年7月が刻々と迫ってきている。施設整備にあたっての利用事業者等の利便性等を検討する時間もなく整備を進めていくのではと危惧するところである。</p> <p>さらに、岩手県初のフェリー運航となり全ての面で経験・知識がないことから運行に支障をきたすことが危惧される。</p> <p>また、宮古港所在自治体の本市としては「宮古港フェリー利用促進協議会」を中心にセミナーなどを開催しているが、市民に浸透するまでには至っていない現状であることから、次のことを伺う。</p> <p>(1) 施設整備について</p> <p>① 接岸岸壁の緩衝材(防舷材)等の整備時期をどの程度把握しているのか伺う。</p> <p>② フェリーターミナルの整備内容の協議があったのか。また、整備時期についてどの程度把握しているのか伺う。</p> <p>③ 強風・時化などの自然の猛威に備えタグボートの常設が必要と思うが、宮古港フェリー利用促進協議会において議論されたのか。また、整備の状況等についてどの程度把握しているのか伺う。</p>	

	<p>④ 港湾管理者である県が、どのようなフェリーターミナル施設を考えているか、概要を早期に把握し、利用者の利便性を考慮した施設となるように宮古港フェリー利用促進協議会において議論し、改善点等について、県に要望・助言等をしていくべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) フェリーターミナルの管理等について</p> <p>① 市として、どのような施設管理組織で管理すべきと考え、宮古港フェリー利用促進協議会に提案、議論し、県と協議をしているのか伺う。</p> <p>② フェリーターミナルオペレーション業務を円滑に遂行することが重要である。フェリー港湾所在自治体として、航路開設時までに職員の育成を図るべきであり、フェリーターミナル等の管理実績のある室蘭市や苫小牧市に職員の派遣を行い、航路開設に向けた体制づくりに取り組むべきと考えるが見解を伺う。</p>	
<p>3 都市計画法に基づく工業専用地域等の見直しについて</p>	<p>工業専用地域等の見直しについては、平成28年度の策定を目指す。宮古市都市計画マスタープランと併せて検討するとしていたが、見直しの進捗状況について伺う。</p> <p>また、復興道路等から出る残土利用も考えられるとされていたが、復興道路整備も進んできていることから、整備手法等も含めて田鎖地区の工業専用地域の活用について研究するとした成果等について伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月21日(水)

質問順位 3番

質問者 議席番号 24番 茂市敏之議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 介護職員と保育士について	<p>① 全国の介護施設及び保育施設において、入所者及び入所児童に対する虐待が増えている。介護や保育に携わる職員の平均月給は全産業の平均と比べて11万円も低く、待遇の悪さが人手不足を招き、人手不足が労働環境の悪化を招き、ついには虐待につながるという構図が見えてくる。本市においても人手不足が懸念されるが、虐待の事案はないと聞いており、現在の労働条件のなかで職務に専念されている職員の方々に感謝申し上げたい。そこで伺う。本市における介護職員及び保育士の確保状況はどうか。また、待機児童の状況はどうか。</p> <p>② 厚生労働省は、介護福祉士と保育士の資格を一本化することについて融合検討チームを昨年4月14日省内に設置し、5月中に具体策や方針をまとめる予定とのことであったが未だ動きが見えない。市当局には内々通知が来ているのか。</p> <p>③ 本市の介護に携わる職員は約1,600名、保育士は約110名前後と思われる。この両職員の給料を全産業並みに上げるには、毎月1億9千万円弱の予算が必要だ。国もこの対策に腐心しているが、対応が遅れている。この方々に手を差しのべる方法がないか、単独予算で独自に上乘せすることができないか伺う。</p>	
2 介護職員と保育士の給料を上げるための財源について	<p>① 私は、ふるさと納税の一部をこれに充てるべきと考える。活用テーマに「介護職員と保育士の待遇を改善し、宮古市は日本一の介護福祉と日本一の子育て支援を目指す。」と加えれば共感を得られると思うが、考えを伺う。</p> <p>② 全国の地方自治体でインターネットを通じ、不特定多数の個人から小口の資金を集めるクラウドファンディングを活用する動きが広がっている。日本再興戦略の中に、資金調達の一環としてクラウドファンディングが明記されている。検討すべきではないか。</p> <p>③ ふるさと納税の平成27年度寄附金額全国ランキングを見ると、1位が宮崎県都城市で42億円、10位の佐賀県上峰町でも20億円である。返礼品への充当率が高い自治体ほど寄附金額が大きい。本市も返礼品の金額を3割から5割にすべきだ。そのことが、返礼品による地域振興と寄附金による各種事業の大きな後ろ盾となると確信するが、考えを伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月21日(水)

質問順位 4番

質問者 議席番号 19番 佐々木 勝 議 員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 企業誘致に向けた取組状況について	<p>復興関連道路は、予定どおりの供用を目指し順調に工事が進められている。道路事情から経済振興が遅れてきた本市にとって、絶好の経済発展のチャンスと捉えているのは衆目の一致するところである。</p> <p>供用時期に照準を合わせた取り組みとして、次の4点について伺う。</p> <p>① 田鎖工業専用地域の基盤整備は検討されているのか。</p> <p>② 他の地区で適地と思われる場所の選定や検討はされているのか。</p> <p>③ 企業立地に向け、具体的に交渉が進んでいる会社はあるのか。</p> <p>④ 魚市場の拡張により水揚げ量増大が期待されるが、大手水産加工会社に進出を促すべきと思うが、どのように考えているのか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月23日(金)

質問順位 1番

質問者 議席番号 1番 今村 正議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 ふるさと納税について	<p>ふるさと納税の個人分寄付件数、金額は、平成23年分505件、7,300万円、27年分1,974件、5,900万円となっている。</p> <p>他の自治体では、ふるさと納税の返礼品として多様な品目を取り揃えているが、当市においても特産品の活用ということで検討する価値があると思うがどうか伺う。</p> <p>また、他の自治体では、ふるさと納税の返礼のひとつとして、お墓の清掃、供花などを行い、清掃後の写真を撮って送るというサービスも見受けられる。故郷を思っているが、帰省できない出身者に対し、市営墓地に限ってその使用料納付書に、このサービスのチラシを同封して、周知をしているところもある。故郷を再び思い起こすための方策も肝心であると考えているが、検討してはどうか伺う。</p>	
2 私有林伐採の適正管理化について	<p>宮古市の地籍調査は現時点で全面積の30%が調査されており、残り70%は原状確認がされていない状況である。</p> <p>伐採届については形式的には、長年正しく運用されているが、検討が必要と思われる。現状では、届出書だけの審査で、境界については現地確認もなく適合通知が出されている。山林所有者は、隣地地権者と境界を確認し合ったとしても、その伐採届の権利行使に問題があると思われる。伐採にあたり山林の所有者において、適正に伐採の管理ができているのか伺う。</p> <p>また、合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律が成立したところである。違法伐採などの対策について研究、検討してみてもどうか伺う。</p>	
3 市営住宅間の住み替えについて	<p>先の3月、6月定例会において、加齢または病気などによる住み替えについて一般質問したところ、「公営住宅法及び公営住宅法施行令において、特定入居は定められています。現在、住み替え基準、取扱要綱を検討中です。」との答弁だった。早期の実現を求めるものであるが、現在の進捗状況について伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月23日(金)

質問順位 2番

質問者 議席番号 14番 橋本久夫議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 希望郷いわて国体について	<p>まもなく開催されるいわて国体。昭和45年以来、2巡目国体として、県民、市民の意識もいよいよ高まってきている。リオ五輪に象徴されるようにスポーツの祭典は多くの感動を与えてくれるものである。来訪者や地域がこのような感動を得るためにも、おもてなしの心を忘れずに、多くの人々の知恵や力を結集して成功に導いてほしい。準備は着々と進んでいると思うが、全体状況を含め、改めて次の点について伺う。</p> <p>① 大会期間を通じておおよその役員、選手及び来訪者数をどのように捉えているか伺う。</p> <p>② 宿泊の受け入れ体制等の状況を伺う。</p> <p>③ 全体の国体ポスターは見かけるがセーリング、レスリング競技単独ポスターがない。過去の例からも地域で行われるものとしてのPRポスターが必要ではないか。</p> <p>④ ボランティアの登録状況と活動内容を伺う。</p> <p>⑤ 式典は、創意工夫をこらしたぬくもりのある運営を予定とあるが、どのようなものが行われるか伺う。</p> <p>⑥ 市全体のPRや飲食、地場産品等情報発信の状況を伺う。</p> <p>⑦ この国体の経験をまちづくりや2019年ラグビーワールドカップなどに活かしてほしいと思うが、見解を伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月23日(月)

質問順位 3番

質問者 議席番号 17番 坂本悦夫議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 子どもの貧困対策について	<p>厚生労働省によると、平成24年時点で子どもの相対的貧困率は16.3%となっている。本市においても経済的に困窮している子どもが少なくないと思われることから、福祉や教育、保健など横断的な支援策を打ち出す必要がある。子どもたちが将来に夢を持てるよう手厚い政策を着実に進めていくため、次のことについて伺う。</p> <p>① 本市の子どもの貧困の現状と課題について、市及び教育委員会の認識を伺う。</p> <p>② 子どもの貧困に関する相談を一元的に受け付け、ワンストップで対応する行政窓口の設置が必要と思うが、見解を伺う。</p> <p>③ 子どもの貧困の実態を調査し、適切な支援をすべきだが、その計画はあるのか伺う。</p>	
2 障害者との共生について	<p>過日、神奈川県相模原市の障害者支援施設で19名の命が奪われるという痛ましい事件があった。この事件を受けて、障がい者やその家族は不安を抱き、また、障がい者を差別する容疑者の言葉に傷つき、同じような事件がまた起こるのではないかと心配している。抵抗できない障がい者を狙った今回の事件は、障害のある人もない人も共生できる社会をどう実現していくのか、改めて私たちに課題を突き付けている。</p> <p>そこで、次のことについて伺う。</p> <p>① 過日、岩手県の達増知事は、今回の事件に対する談話を発表し、障害の有無にかかわらず、互いに尊重し合う共生社会の理念の浸透と発信を呼びかけた。市長にも知事に続き、障がい者との共生を訴える談話を発信していただきたいし、そうすべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>② 本年4月、障害者差別解消法が施行された。職員一人ひとりが法律の趣旨を正しく理解し、的確に対応できるよう障害特性に応じた配慮事例などを示した要領を策定するとともに、市民に公表してはどうか伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 9月23日(金)

質問順位 4番

質問者 議席番号 5番 白石雅一議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 津軽石の歴史文化財を活用したまちづくりを	<p>復興事業が目に見えて形となりつつある津軽石地区において、地域の魅力発信と活力あるまちづくりを行うために、津軽石の歴史文化財を利用した、より進んだ整備計画が必要と考える。</p> <p>そこで、平成26年3月に宮古市教育委員会が発刊した、「津軽石地域文化遺産活用計画報告書」の中で、国登録有形文化財である盛合家の保存活用がうたわれているが、現在の進捗状況と今後の計画について伺う。</p>	
2 スポーツ・レクリエーション施設の活用について	<p>被災したスポーツ施設が復興工事の進捗により、新しくその姿を見せてきており、宮古市のスポーツ・レクリエーション環境は復旧改善している。</p> <p>リアスハーバーでは、2016希望郷いわて国体の「セーリング」と「シーカヤックマラソン」が行われ、田老野球場では落成後、様々な記念試合が組まれており、また、赤前の宮古運動公園は完成に向けて着実にその工事を進めている。</p> <p>今後、ますますスポーツ・レクリエーション環境は充実すると思われることから、施設の一層の利用促進を図るため、以下の点について伺う。</p> <p>① これら魅力ある施設の重要性をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>② 宮古運動公園は、県の防潮堤工事との兼ね合いが心配されるが、今後の宮古運動公園利用に支障が無いよう計画されているのか伺う。</p> <p>③ 田代の野外活動センターの今後の活用策について伺う。</p> <p>④ 市外・県外スポーツ・レクリエーション団体等のため、宿泊や観光と絡めた施策が必要と思うが、どのように考えているのか伺う。</p>	

<p>3 各分野で活用できる I C T の環境整備を</p>	<p>全国的に位置情報サービスを使ったソフトウェアによる観光開発に注目が集まり、スマートフォンなどの I C T 機器を使った新しいサービス事業が広がりを見せている。</p> <p>また、観光地等に公共無線 L A N を設置する自治体も増えており、宮古市においても今年度設置が計画され、インターネットを使ったサービス事業がますます身近なものとなってきている。</p> <p>しかし、そのサービス事業を作り出すことに関しては、宮古市はまだ遅れを取っているように思うことから、以下の点について伺う。</p> <p>① 事業所や市民を対象とした、ホームページ作成や P O P デザインなど、人材の育成を目的とした講習会等を行う計画がないか伺う。</p> <p>② 岩手県は全国に先駆けて Ingress を使った観光振興策を打ち出したが、宮古市ではこのような施策に取り組む計画があるか伺う。</p> <p>③ I C T を扱う側の育成においては、テレワークやサテライトオフィスのような、首都圏からの人材の移住も有効な手立てだと思いが、宮古市での受け入れ態勢について伺う。</p> <p>④ 今後の市の発展において、I C T を活用できる企業の育成は必要不可欠と思いが、市の考えを伺う。</p>	
---------------------------------	---	--